





# 理事長年頭の辞

理事長 中川 龍治

皆様、明けましておめでとうございます。

昨年2月1日より新西病棟・新西外来棟を開設し、新西5病棟は精神科急性期治療病棟の施設基準を取得し、一つの目標であった地域における精神科救急・急性期治療の役割について、さらに充実できる体制となりました。また、政府、厚生労働省は昨年6月に「精神科人員体制のあり方について」（精神科医療の機能分化と質の向上等に関する検討会 H24/6/28）、「精神保健福祉法における保護者制度のあり方について」（入院制度に関する議論の整理 H24/6/28）、「今後の認知症施策の方向性について」（厚生労働省認知症施策検討プロジェクトチーム H24/6/18）など非常に重要な3つの「とりまとめ」を発表しました。いずれも、精神科医療にとって厳しい内容のものです。さらには4疾病5事業に精神科医療が加わり、5疾病5事業となった医療計画が国及び県単位で本年4月から策定施行されます。内容的には、精神科医療に要求されるものは、精神科救急と精神科身体合併症治療（救急的）、およびうつ病（自殺予防）と認知症対策ということが明白です。そして、病床削減と入院期間の短縮ということも当然のことのように要望されています。また、同じく4月から「障害者自立支援法」は「障害者総合支援法」に改正され、施行されます。このような状況から、今年は友朋会にとって、歩む方向の判断を迫られる年になると予想されます。その上で、下記の項目を目標といたしました。

本年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。



## 目標：『継続は力なり』

- ①「何を、どう継続するのか。何に、どう新しく取り組んでいくのか？」
- ②「精神科救急・身体合併症（救急的）への取り組み」
- ③「認知症医療における入院治療クリニカルパスおよび地域連携（パス）への取り組み」
- ④「友朋会の教科書を作る」
- ⑤「被災地支援として何ができるか」

さて、①、②、③については、友朋会の医療の将来像についての基本的な要素と考え方を上げました。今年、48年目を迎える友朋会にとって、その歴史が築いてきた土台をさらに強固にし、または、逆に改めてどのようにすればもっと強固な土台となるのかを考え、検討する。そして、歴史が築いてきたその土台を大切にしながらも、新しい取り組み、新しい試み、さらには何を改革すればよいのかしっかりと情報を収集し、知恵を集め、研究し、考え、検討せねばなりません。5疾病5事業としては365日24時間の精神科救急・合併症救急体制の整備を求められると思われれます。また、昨年の「とりまとめ」で国は認知症の患者さんを精神科病院に入院させることは不適切な対応で、BPSDは2ヶ月で治ると明言しており、どんなに重症になっても地域で対応可能と考えています。また、精神科関連の「とりまとめ」や医療計画では、「1年以内の退院率を上げること」、「5年以上の長期入院になってしまう高齢者を退院させること」、そして、「アウトリーチ」がこれからの精神科医療では当たり前になることとして求められていきます。現場とすれば、このような方針に意見は山ほどあります。しかし、一方で、現実的な対応を進めていく必要があります。昨年、児童の言語訓練やうつ病のリワークプログラム（職場復帰訓練）を新しい取り組みとして準備し、開始出来るところまでできています。歴史と土台がしっかりとしている友朋会に革命は必要ありません。しかし、改革は常に必要です。

④「友朋会の教科書」を作るということは平成27年3月の50周年に向けて、一昨年からプロジェクトを発足し、6つの委員会を立ち上げ、準備を進めていますが、そのことに通じます。友朋会の精神科医療、一般・リハビリ医療、社会復帰、認知症医療、芸術療法など、友朋会の10の基本方針がどのように行われてきたのかが、ひと目でわかる記念誌等を作成したいと思います。単なる50年の歴史を羅列するのではなく、各々の医療の分野、および各々の部署・部門において、何から始まり、何が変わって、今どのようになっているかを明確にしたいと思います。1回見たら終わる記念誌ではなく、1年に数十人の職員が入れ替わる友朋会の職員が、これを見れば、自分が配属された部署の歴史と医療内容がわかる友朋会の教科書作成の準備に入りたいと望みます。職員の学会発表においても重要な基礎知識となるはずで。

⑤については、昨年、被災地支援を目標としながらも、主には募金集めしかできませんでした。今年は、上半期でしっかりと情報収集し、被災地に必要とされることで、我々ができることを運営会議の場に職員全員の意見を集め検討し、下半期で決定事項を実行するという運びにしたいと思います。

またこの1年、我々友朋会職員一同は、誠意をもって真摯に、研ぎ澄まされた一人一人がひとつとなり、どんな小さなことでもひとつずつ根気強く積み重ね、前を向いて、しっかりと精進していきます。



## 年頭の挨拶

副院長 吉本 静志



明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。年末、年始と今回は休みとなった日が多かったのですが大きな事故もなく過ごせたことは良かったと思います。

先日、ある新聞社より貴院は医療機能評価機構による病院機能評価での評価点数が最も高かったという事で問い合わせがあったそうです。

そのうちのいくつかを紹介すると、

- 病院運営におけるプランニングファイルの活用。特に個人と組織での目標などがはっきり示され評価されていること
- 組織運営の計画性が中・長期にわたり明示されていること
- 地域精神医療の中心的役割を担い、隣接の医療センターとの連携も密であること
- 医療事故の報告が具体的で組織的に分析、改善策を提示されていること
- 医療感染の管理、感染防止策の手順、抗菌薬の適正な使用システム、職員への感染に関する教育活動
- 診療業務の質改善と医師の能力開発と課題への検討
- 身体・精神リハビリの充実
- 身体拘束への取り組み
- 精神科での退院への取り組み



といったことなど多くの評価が高いものでありました。

このような評価をいただいているという事を誇りに思い、これに甘んじることなくさらに改善すべきところは改善していく努力をこれからも惜しまずしていきたいと思ひます。これらにはひとえにすべての職種の連携と協力が必要ですので皆さんまた力を貸していただきたいと思ひます。

ところで昨年秋ごろから認知症の入院などが減ってきておりました。ただ紹介は少なくなっているわけでは決してなくむしろいろいろな問い合わせは増加している現状です。当院での認知症の治療に対して地域でも期待がある反面、宅老所の増加により入院という選択肢が少し少なくなっているようですが、きちんとした医療を提供し続けることでこの問題はいずれ結果として出てくると思ひますし、努力を続けたいと思ひます。

また昨年の自殺の数が13年ぶりに3万人を下回るようです。この地区は1昨年から自殺予防対策の佐賀県におけるモデル地区とし地域の身体科の先生方との協力のもと希死念慮のある方、うつ病を疑われる方の治療に対してタイムリーな協力をしております。今後もその協力を継続しながらうつ病への取り組みもしていきたいと思ひます。

以上当院の評価についてとこれからの取り組みなどについて紹介し年頭の挨拶とさせていただきます。

# 友朋会の理念 『患者さまのために』

## 基本方針

- 1 患者さま一人ひとりの立場になって、提供すべき医療・福祉を考え実践する
- 2 愛情のある医療・看護・介護・リハビリ・福祉を実践する
- 3 患者さまの退院支援・生活支援・就労支援において更なる向上を図る
- 4 芸術療法を実践する
- 5 治療空間としてアメニティーを重視する
- 6 地域に必要とされる医療を実践する
- 7 認知症への取り組みにおいて地域のリーダーとなれるよう努力する
- 8 児童・思春期の精神医学分野においてその専門性を高める
- 9 院内におけるチーム医療および地域の関係諸機関との連携を強化する
- 10 医療従事者として自己研鑽に精励する

## 職業倫理に基づく行動指針

- 1 患者さまの自己決定権を尊重する
- 2 患者さまが自己の情報を知る権利を保障する
- 3 患者さまがセカンドオピニオンを求める権利を保障する
- 4 患者さまに安全で質の高い医療を提供することに最善を尽くす
- 5 患者さまに医療的な説明を十分に行う
- 6 患者さまに治療に関する同意を確実に得る
- 7 患者さまの「基本的人権」を保障する
- 8 患者さまの尊厳を保つ
- 9 患者さまの終末期医療について理解を深め、その実践に努力する
- 10 患者さまの個人情報を守る



## 医療法人財団 友朋会

〒843-0394 佐賀県嬉野市嬉野町大字下宿乙1919  
 電話:0954-43-0157 FAX:0954-43-3440  
 E-mail:info@yuhokai.com URL:http://www.yuhokai.com/

- 嬉野温泉病院 0954-43-0157
- 認知症疾患医療センター 0954-43-0003
- リハビリセンター「ほほ笑み」 0954-43-0194
- 老人デイケアセンター 0954-43-0233
- 介護老人保健施設 朋寿苑 0954-42-2900
- 友朋会介護サービスセンター 0954-20-2531
- グループホーム 千寿荘 0954-43-0157
- 就労支援センター「希望」 0954-43-0249
- 地域連携室 0954-43-0255
- 小規模多機能ホーム「孝心の里」 0954-43-7550
- ものわすれメンタルクリニック 092-534-5151

〒815-0082 福岡市南区大楠2-19-20ピュアドームエレガント平尾3・4F